

2024年7月26日 1,300部発行

神学教育後援会募金事務担当

山崎道子（豊中教会教師） TEL：06-6852-3078 FAX：06-6855-1081
〒560-0024 豊中市末広町1-2-28 日本キリスト教団豊中教会

分担金事務担当

尾島信之（南大阪教会教師） TEL：06-6622-2011 FAX：06-6622-2048
〒545-0021 大阪市阿倍野区阪南町1-30-5 日本キリスト教団南大阪教会

同志社大学神学部報告

神学部長 関谷 直人

小原前学部長が同志社大学の学長に就任されたために、私が小原先生に代わって神学部長になって3ヶ月がたちました。これまでとは少し異なった角度から神学部を見て、関わる中で、職務に追われる日々を過ごしています。

学部について言えば、今年度も例年通りの数の入学者を迎えることができました（最近では学生さんを定員以上に取過ぎるとペナルティが与えられることがありますので、基本的にほぼ定員通りの数の入学者数に納める必要があります。これが実は簡単ではなく、毎年苦心しているのです）。

ほとんどの一年生はいわゆる「ノンクリスチャン」ですが、多くの学生さんはキリスト教をはじめとする宗教に強い関心をもって神学部に入學してこられています。一方で神学部卒の牧師のご家庭から来られた方も複数名おられますし、日本基督教団以外の教派から来られた学生さんもおられ、キリスト教の「シンパ」も少なくありません。もしキリスト教に触れてこなかった神学部の一年生が、何かの機会に皆さんの教会の礼拝に顔を出すことがありましたら、どうぞよろしくお迎え、ご

指導ください。

今年度は、数年間コロナ感染拡大のために、対面で実施できずにいた新入生を対象とした「新入生キャンプ」を「同志社びわこリトリートセンター」において対面で実施することができました。やはり対面でのキャンプの力は圧倒的で、土日のキャンプを終えた後の授業中の一年生の表情が違いました（少々仲良くなりすぎてクラスが騒がしくなったり、ラウンジがやたら賑やかになるのは困りものですが）。教員の側からしても、キャンプ後のクラスの景色は一変しました。それまでは「1年生」という一括りの学生さんたちであったものが、キャンプをさかいにして、顔と名前が一致する「〇〇さん」となり、クラスが一挙に色を得たようになったのです。

この「新入生キャンプ」同様、数年間コロナの関係でフィールドで開催できずにいた「宗教と社会福祉」も、この春学期からは再開され、学生さんたちはかつてのように止揚学園での実習を行っています。

近年、大学院（博士課程前期）の学生数は定員を超えることはなく、教会志望者の数も一桁台の前半あたりにとどまっています。学部

としてもこの問題を重く受け止めており、大学院、とりわけ牧会者養成の強化については議論を続けています。学部から大学院に上がってくる学生さんを増やすことも大切ですが、一方ですでに日本基督教団の信徒として長く教会生活をされてこられた方々に、本学大学院にきていただいて、牧会者としての歩み出しをするお手伝いをさせていただきたいとも考えています。日本基督教団では現在、神学部を経ないで、大学院から学び始める学生さんに対しては、Aコースでの補教師受験に際して、各神学領域ごとに一定以上の単位取得

を求めています。私たちはそうした大学院からスタートされる学生さんに対しては、3年在籍（博士課程前期は通常2年で修了）を強くお勧めしています。また神学部ではそのように最初から3年計画でAコース受験を目指される学生さんのために、3年目の学費を給付する奨学金をご用意して、献身の志を与えられた皆さんをお待ちしています。「収穫は多いが、働き手が少ない。だから、収穫の主に、収穫のために働き手を送ってくださるよう祈りなさい」との言葉の通り、一人でも多くの献身者が与えられるよう祈っています。

「第2回拡大常任委員会」並びに 「『地区』合同人事委員会」報告

会長 菅根 信彦

主の恵みの内にお過ごしのことと存じます。日々、全国同信伝道会及び各地区活動、そして、四部門の委員会活動をお支え下さいますこと感謝いたします。

去る6月24日（月）午後2時から天満教会を会場に第4回代議員会期・第2回拡大常任委員会が開催されました。当日は、リモートでの参加を含めて、全国より常任委員・地区委員・四部門委員長・人事委員の計26名が集いました。

定刻午後2時に祈祷をもって会議が開始され、前回議事録の承認の後、各地区報告が行われました。九州・沖縄地区から始まって11の地区委員から報告書をもとに詳細な説明がなされました。具体的には、各地区委員会の働き、教師の異動、地区活動計画などの報告があり、特に、各地区で再開された対面での研修・交流会の様子を知ることができました。また、学長となった小原博克教授に代わって

出席された村山盛葦教授から神学部の近況報告を受けました。神学部の教師養成の働きについても理解を深めることができました。

次に、教職養成委員会、財務委員会、ネットワーク委員会、人事委員会の四部門委員長から、2023年11月以降の活動報告がなされました。特に、神学教育後援会並びに全国同信伝道会会計の2023年度の決算、2024年度の予算が審議され質疑の後に原案通り承認されました。また、神学教育後援会からは奨学金事業報告、特に、昨年度より実施された「神学生緊急支援金募集要項」について、その実施状況についての説明がありました。さらに、教職養成委員会からは、2月27日（火）～29日（木）に神学館で開催された「牧会者準備セミナー2024年」の報告、さらに、8月12日（月）～14日（水）の2泊3日の予定で、同志社びわこリトリート・センターで5年ぶりの開催となる「牧会10年経験者セミナー」の

企画・計画をはじめ準備の進捗状況を伺い報告を承認しました。

会衆主義教会研究会が準備を進めてきた「同信伝道会のHPの開設について」、また、『天上の友誌』(第5巻)の出版について(監修:上林順一郎牧師)は、議案立てられ、各案詳細な説明がなされ、また、積極的な質疑と提案があって、両案とも推進していくことが承認されました。なお、九州地区からは、8月20日(火)~21日(水)1泊2日の日程で九州キリスト教会館を会場に開催予定の「西日本同信伝道会研修会」の案内が呼びかけられました。

休憩を挟み、午後4時半より、地区「合同」人事委員会が引き続き開催されました。各地区の教会・教師の様子を聞きながら、教師を求める教会の招聘条件、任地を求める教師の要望を確認しつつ協議の時をもちました。翌

日25日(火)正午まで人事委員会は続けられました。人事委員会は通常毎月1回開催されていますが、何よりも地区委員の方々の働きに支えられています。コロナ禍によって、教会の伝道・教育・奉仕に関しての宣教課題が山積みとなっている中、各教会・伝道所の教勢や財政には厳しいものがあります。今まで以上に地区との連携を深め、課題を共有しつつ人事委員会の働きを推し進めていきたいと思っています。

各地区の同信伝道会の交わりを厚くし、地域の宣教課題を共有しつつ、主に託されている宣教活動に共に取り組んでいきたいと存じます。会衆主義教会の「自由・自主・独立」の精神を豊かに宿しながら、地域との連携を深めて共に新しい宣教の展開を果たしていきたいと思います。主の導きをお祈りいたします。

財務委員会報告

委員長 平山 正道

いつも全国同信伝道会神学教育後援会のために温かいお祈りとご支援をいただき、ありがとうございます。

財務委員会は皆様からお捧げいただいた献金を原資に、従来は神学部の協力のもと「神学生奨学金」と「外国人留学生奨学金」を募集し支給してきました。また、牧会現場に赴任する新卒者には「赴任時奨学金」を予餞会時に進呈してきました。さらに昨年度からは、既にお知らせしたとおり「派遣神学生教育支援金」を新たに設け、受け入れ教会の宣教活動を支えることも視野に入れながら派遣神学生を支援しています。

これらに加えて、昨年度中に、家庭の経済状況が急変して勉学の継続が困難になった学生を支援できないかどうか神学部から打診が

あり、委員会で検討した結果、緊急を要することでもあったため、わたしたちに可能な限りの支援をさせていただきました。詳細は別途会計報告の通りです。

また、今秋から「神学校日」によせて、信徒の委員が関西地区の諸教会を訪問して、献金のアピールをさせていただき活動も再開しようと計画しています。お世話になりますが、受け入れをよろしくお祈りいたします。

難しい時代の中で、神学生として将来に備えている皆さんを、どのようにお支えし、共に歩いていくのか暗中模索しています。どうぞ引き続き、全国同信伝道会神学教育後援会の働きへのご理解とご支援を賜りますように、心からお願いいたします。

ネットワーク委員会報告

委員長 新井 純

去る3月8日京都ガーデンパレスにおいて2023年度予餞会を開催いたしました。新型コロナ禍で開催できていなかったため、5年ぶりの開催となりました。今回は2名が新たに教師として任地に赴くこととなり、約50名の教師と信徒が集い、それぞれのお働きが祝されるよう祈りつつ送り出しました。

付帯施設のある教会に赴任し、施設の責任を担っている教師たちから、施設運営についての課題等について相談したり、牧会と施設運営という務めをより良く行うための経験談

等を分かち合っただけで欲しいとのリクエストが寄せられているため、そうした希望を持っている教師や信徒が情報交換したり学び合える場を作ることができるか、教職部門と協働で検討していきます。

今年度は神学協議会の非開催年であるため、6月に埼玉県熊谷市で東日本同信会が開催され、また8月に福岡県福岡市で西日本同信会が開催されます。ネットワーク部門では、2025年の神学協議会開催に向け準備を始めます。

教職養成部門委員会報告

委員長 栗原 宏介

いつも教職養成の働きのために祈りお支えくださってありがとうございます。現在、当委員会では「牧会10年経験者セミナー」の準備をしています。開催日は8月12日～14日、同志社びわこリトリートセンターを会場にして開催予定です。講師は森孝一先生です。参加対象者は2010年着任の方から2012年着任の方です。牧会経験10年の方々が対象ですので、本来ならば2014年前後の方々が対象となりますが、コロナ禍にあって前回のセミナーを開催できずにおりました。そのような事情でイレギュラーではありますが、今回は2011年

前後に着任された方々が対象となります。

牧会の現場に出て10年という時期は自分なりの牧師職の形が見えてくる時期で、同時に、召命観が揺らぐ時期でもあります。この時期に、様々な課題をもって、同年代の方々が集まり、学び合い、共に話し合う場が持てればと願いこのセミナーを企画・実施しています。講師・委員を含めた参加者みんなでじっくりと学び合い、自分を見つめ、新しい発見をして牧会の現場に戻っていけるようなプログラムを考えています。

皆さま、お祈りとお支えをお願いいたします。

会衆主義教会研究会報告

座長 後宮 敬爾

第6期会衆主義教会研究会報告

会衆主義教会研究会は、今日における会衆主義教会の存在意味を検討し、将来を展望するために設けられ、現在第6期目の活動を継続しています。現代社会における会衆主義教会の使命と役割が、大きな研究課題です。

前期の研究成果として、『教師招聘ハンドブック』の増補改訂版を発行いたしました。従来のハンドブックを大幅に改訂し、さらに昨今、生じている「招聘制と任期の問題」「ハラスメントへの対応」などのケースを踏まえた増補もなされています。招聘制度は会衆主義教会にとっては、生命線ともなることですので、各教会で用いてください。また、さらなる改訂に向けての検討を進めていきますので、ご意見やご要望などがございましたら、当研究会までご連絡ください。

特に、今期、わたしたちに託された課題は、(1) 同信伝道会 HP を開設と運営 (2) 伝道献身者奨励事業(神学部・教会・同信会の協力)の検討 (3) 『天上の友』第5集を発刊するための検討 (4) 「基督教世界」誌の再発行の可能性 (5) 同信伝道会メンバーシップについての検討 など多岐に亘ります。

とりわけ若い伝道献身者が少ないというのは、同志社のみならず教団全体、ひいては日本のキリスト教全体が直面している課題です。この課題の解消に取り組むためには、教会と神学部が祈りと知恵をあわせながら、従来には

なかった新しい働きを創り出す必要があります。研究会でも話し合いを重ねてまいります。皆さまの祈りとご協力をお願いいたします。

多くの方に「全国同信伝道会」を知っていただくために、ホームページを開設いたしました。検索をしていただき、コンテンツをご覧頂ければ幸いです。また、東日本ユースキャンプや西日本献身キャンプに参加を検討している高校生のご家庭などにご紹介いただけると、安心していただけるのではないかと期待しています。

『天上の友』第四集が発刊されてから10年を経ました。第五集の発刊に向けて作業を開始します。原稿の執筆、資料の提供、そして発行資金への協力など、皆さまにお願いしなければならぬことが多々ございます。具体的な作業が始まりましたら、ご案内とお願いをいたしますので、ご助力下さい。

「宗教消滅危機」といわれる時代ですが、実は、この時こそ、宗教が必要とされているのではないのでしょうか。わたしたちの使命を確認し、この社会に対してキリストの体としてどのような働きができるのか、会衆主義教会だからできる奉仕と働きとは何なのかを研究し、考察してまいります。

この研究会の働きを覚えお支えいただきたくお願いいたします。

❖ 地区報告 ❖

■ 北海道地区

杉岡ひとみ（千歳栄光教会）

2024年4月30日（火）、午後4時より北海道同信伝道会が札幌北光教会を会場にして行われました。和やかなムードの中、25名の出席者がそれぞれの近況を語り合い、また新しく北海教区に着任された教師を歓迎しました。

また、代議員選出にあたり意見交換を行いました。代議員の役割、任期の確認、選出にあたって選挙権の対象をどこまで広げるのか、などについて活発な議論を交わしました。話し合いを経て、代議員はGoogleフォームを用いて選出すること、選挙権は同志社卒業生のみならず、同信伝道会に連なる人も含むことなどを確認し、投票を行いました。その結果、代議員は杉岡ひとみ教師が選出されました。また地区委員は引き続き韓守賢教師が務めることになりました。今後も話し合いの時間を大切にしながら、この同信伝道会のつながりを豊かなものにしていけたらと願っています。

■ 関東地区

藤 秀彦（四條町教会）

6月17日、東日本同信伝道会研修会の開催会場において、関東地区の総会を行いました。前回の開催から、5年ぶりの集まりでした。この5年の間に、牧師を招聘することが出来なくなった教会が増えてきました。今後は関東地区内の各教会や学校そして教師のつながりを深めるために、直接に顔を合わせる集まりを再開させたいと考えています。関東地区の委員は長倉望（新潟教会）、川上盾（前橋教会）、三浦啓（桐生東部教会）、橘秀紀（水戸教会）、岩河敏宏（埼玉和光教会）、藤秀彦（四條町教会）です。

■ 東京地区

原 牧人（豊沢教会）

コロナ禍により中止してきた東日本（東北・関東・東京地区）同信伝道会研修会を、5年振りに6月17日～18日、1泊2日で開催しました。コロナ禍を過ごす中で、各教会は活動が制限され、体力的にも低下し、元気をなくしてしまっている。もう一度元気を取り戻して、希望に満たされて歩んでいきたい。そのためには……ということと共に語り合おうと、「教会の危機と展望～教会にどんな将来があるのか～」を主題に掲げ、教職、信徒合わせ50名近い参加者で、有意義な時間を過ごしました。

講演を片柳弘史神父（イエズス会司祭、カトリック宇部教会主任司祭）と、菅根信彦牧師（全国同信伝道会会長、同志社教会）にお願いし、それぞれの教派の現状と課題を共有しつつ、これからの教会が目指すべきことを確認することができ、大いに元気付けられました。

東京地区の主な活動としては、春の研修会と総会、秋の研修会、礼拝交流（交換講演）があり、総会で選任された5名の委員を中心に、人事の件なども含めて携わっています。また昨年度もいくつかの教会、学校などで教職者の異動がありましたが、それにつきましては「教師異動報告」などでご確認ください。

■ 中部・東海地区

吉澤 永（愛知教会）

中部同信伝道会は今年改選期で、世話役の選挙が行われました。選挙の結果、愛知教会吉澤さんが選出されました。名古屋学院大学に床次隆志さん、南山教会に大塚勁さんが着任されて、総会後に歓迎会を行いました。同信会という組織において、最も小さな群れで

すが、自由と連帯を大切に歩いていきたいと思ひます。覚えてお祈り下さい。

■ 京都地区

柳井一朗（洛西教会）

京都同信会送別会を3月25日を行いました。出席25人。

2023年度 送別者は越川弘英教師と安部勉教師でした。

2024年度 地区人事は、教会関係 森喜啓一教師と尹相優（ユンサンウ）教師。

学校関係 李元重（イウォンジュ）教師と徳田恵美奈教師。

本ニューズレター教師異動報告をご参照ください。

関西同信会（京都、大阪、兵庫3地区合同）を4月22日、豊中教会で行いました。

55人出席。越川弘英教師が「次の四半世紀における教会と牧師の課題」と題して講演されました。講演参考資料「礼拝と音楽」教団出版局刊 2024年春号

■ 大阪地区

尾島信之（南大阪教会）

2023年12月15日（金）、大阪成全会の皆さんとの合同例会が島之内教会を会場に開催されました。コロナ禍に入る前までは毎年12月に持たれていましたが、実に4年ぶりの交流の時となりました。参加した約30名が近況報告やアピールを行ない、食事へと出掛けることが出来たことは、大変感慨深かったです。なお、大阪同信伝道会独自の例会を、2024年9月に予定しており、準備が進められています。

世話人は、戸根裕土さん（蒲生教会）、三浦遙さん（鳳教会）、山下壮起さん（阿倍野教会）、山崎道子さん（豊中教会／人事委員）、尾島信之（地区委員／人事委員）が引き続き担っています。

■ 兵庫地区

新堀真之（甲東教会）

5月13日（月）、岡本教会を会場に、定例の兵庫同信会が開催されました。石田求教師より、「カリフォルニアの日系教会—シカモア教会の場合」と題したお話をうかがい、その後は新年度に着任された教師の歓迎を行いました（参加者：20名）。

ここ数年、兵庫内では教師の異動が続いています。コロナ以降（2020年度～）に限った場合でも、代務者を含めて16の教会で教師の交代があり、また2名の教務教師が着任されています。今年度も、5教会（明石、須磨、洲本、摂津三田、東神戸）で就任式が執り行われました。課題を継承していくと共に、新たな流れを生み出すことができると願っています。

尚、兵庫教区では、栗原宏介教師（岡本教会・副議長）、榊田翔希教師（尼崎教会・書記）が、引き続き教区三役の重責を担って下さっています。

■ 中国地区

中井大介（倉敷教会）

中国同信伝道会は、中国地方5県（山口・島根・広島・鳥取・岡山）における教職のつながりの中で活動しています。2024年2月18日（日）から19日（月）にかけて中国地区の一部の方々だけでしたがコロナ禍後に研修とリトリートを兼ねて吉備高原リゾートホテル及び高梁教会を会場において相まみえるときが与えられました。それぞれの教会が高齢化していくなかで無牧の教会を地域のつながりで支えて行かなければならない課題が増えています。また、教職の心と体の健康を整えていくための配慮も必要となっています。だれも孤立しないような牧会的配慮を地域において大切にいくために、今年度は少しずつ交流のときを増やしていきたいと願っています。これからも中国同信伝道会のためにお祈

りいただければ幸いです。

■ 四国地区

木谷 誠（今治教会）

2023年度は秋の研修会を11月10日（金）松山学院高等学校礼拝堂にて行った。出席は、30名（礼拝と講演、松山学院高等学校教職を含む）、16名（懇親会）。テーマは「松山バンド・夜学校バンドとわたしたち一バンドという精神」。講師 上島一高氏（松山教会牧師）であった。

松山学院に学んだクリスチアンの実践、母校愛と信仰に溢れた松山バンドの実践に多くを学んだ。講演後の懇親会では松山学院高等学校調理科生徒の手作りお弁当を頂いた。参加者から一言ずつ挨拶を受け、良き交わりの時をもった。諸事情から十分に教育を受けられない子どもたちに教育を与えるためとの建学の精神を持つ松山学院との連携を今後とも大切にしていきたい。また同じく松山教会から始まった松山東雲学園との連携については、十分にできなかった。今後の歩みを祈りつつ注視していきたい。

2024年度は秋に四国同信伝道会研修会を開催する。会場予定の清和中高と日程調整し、学びと四国同信伝道会との交流を深めていく。閉校が決定した清和中高であるが、だからこそ生徒たちと礼拝を守り、残り少ない日々に取り添いたい祈りと支援を深めたいと願っている。

■ 九州・沖縄地区

松崎 豊（福岡弥生教会）

九州同信伝道会は、毎年5月の九州教区総会に合わせて福岡警固教会で開催し、教師と信徒が共に食事をしながら楽しい交わりの時を持っていました。しかし、今年の九州教区総会は、日程の短縮に伴う一日の議事終了時間が変更となり、例年のような夕方からの九州同信会開催が難しくなりました。それでも、総会1日目終了後に、短い時間ではありましたが、同信会及び関係の方々総会会場近くの店に集まり親睦の時を持つことができたことは幸いでした。久しぶりに顔を合わせ、互いに支え合う友がいることを喜ぶ時となりました。

福岡警固教会の西岡裕芳教師は3月末で辞任されました。後任者は9月に赴任される予定です。また、今回の九州教区総会では、西岡裕芳教師辞任に伴う副議長選挙が行われ、矢崎和彦教師（福岡城東橋）が選出されました。お働きを覚えてお祈り下さい。

2024年西日本同信伝道会は、九州地区が担当し、8月20日（火）～21日（水）の日程で九州キリスト教会館を会場に開催する予定です。皆様のご参加をお待ちしています。



全国同信伝道会ホームページ「doshinkai.net」が開設しました！！

豊中教会、会衆主義教会研究会 山崎 道子

2024年7月、全国同信伝道会（同信会）のホームページが開設しました。ぜひ、皆さんのパソコンやスマートフォンで「doshinkai.net」と検索してみてください。こんな爽やかなブルーのバナーが出てくればOKです。



ホームページを開設した第一の目的は、「同信会を知らない人にとって必要な情報を提供する」ことです。現在、同信会の情報発信としては、毎年2回発行される『全国同信会ニュースレター』がありますが、これは同信会と関係のある教会や個人に送られるもので、一般の人が目にする機会はほとんどありません。神学部の学生であっても、普段の学生生活で同信会と関わる機会はほとんどないのが実情なので、過去には「奨学金を受けたら同信会に将来が拘束される」と誤解して奨学金辞退を申し出られたケースがありました。きちんと説明して誤解はすぐに溶けたのですが、奨学金に応募を考えている神学生や、東西の献身（ユース）キャンプに参加しようとする青年とご家族など、同信会をまったく知らない人がインターネットで「全国同信伝道会」「同信会」と検索しても公式な情報がどこにも出てこないのでは、参加を躊躇してしまうかもしれません。

折しもカルト宗教への警戒が強まる現状の中、同信会がどのような組織でどのような理念を持つ団体なのかをきちんと発信する必要があることが、昨年の会衆主義教会研究会で話題となり、この度のホームページ開設へと至りました。これによって、同信会が「アヤシイ宗教団体」ではなく、会衆派教会・旧組合教会の伝統を受け継ぎ、同志社大学神学部と共に日本のキリスト教界で長年活動している「ちゃんとした団体 (!?)」であることが伝われば幸いです。

内容は「同信会について」「神学教育後援会」「ニュースレター」「出版物」等となっています。特に、同信会は緩やかなフェローシップによって成り立っている団体なので、その理念や組織についてまとめた担当者は苦心しましたが、わたしたちのアイデンティティを確認する意味でも大切な情報が簡潔に記載されていますので、ぜひご活用ください。これから少しずつ内容を充実させ、年表なども追加掲載したいと考えています。

このホームページは常任委員会の責任と予算の元で運用され、3名の担当者によって管理されます。最後に、担当者より大切なお願いをいたします。

①今後発行されるニュースレターはPDF化してホームページに掲載されます。

記事の内容および画像がホームページ上に公開されることを前提として執筆してください。

②同信会関係教会としてリンク掲載可能な教会・伝道所はメールでお知らせください。

ホームページに対するご意見・ご要望なども下記のアドレスへお寄せください。

ホームページ専用メールアドレス info@doshinkai.net

担当者：上島一高、高田 太、山崎道子（連絡窓口担当）

2023年度 全国同信伝道会神学教育後援会寄付者芳名 (敬称略)

(2023年4月1日～2024年3月31日)

※ ○内数字は寄付回数 お1人(団体)数回のご寄付も1口に

※ 地区の記載は寄付金振込み時の住所による

【北海道】

計	7口	59,540円
旭川六条教会		5,000
井石彰		5,000
石垣弘毅		5,000
大島義浩②		4,000
札幌北光教会		30,000
柴田もゆる		5,000
月寒教会		5,540

【奥羽・東北】

(青森・岩手・秋田・宮城・福島・山形)

計	4口	28,000円
仙台北教会		5,000
水沢教会		3,000
山下勝弘		10,000
山下光		10,000

【関東】

(新潟・群馬・栃木・茨城・埼玉)

計	23口	164,000円
朝日研一朗②		10,000
安中教会		20,000
石田透・貴代		5,000
岩井健作		3,000
江川永		3,000
大宮教会		5,000
鹿島教会		10,000
川上純平		10,000
川上盾		5,000
甘楽教会		5,000
久保田愛策		10,000
坂口吉弘		3,000
高崎教会		5,000
高橋津賀子		3,000
十日町教会		5,000
原誠		3,000
東所沢教会		10,000

福本光夫・正美②		20,000
古澤健太郎		3,000
緑野教会		3,000
宮内常喜		3,000
宗像亮二		10,000
四条町教会②		10,000

【東京・神奈川・千葉】

計	24口	792,797円
市川三本松教会		10,000
桜美林教会		5,000
北村裕樹		5,000
倉地七重		2,000
栗原昭正		5,000
小林茂		5,000
新生教会		10,000
高塚陽一		5,000
千葉教会		20,000
東京府中教会		3,000
東京山手教会		20,000
徳田信②		8,000
土橋晃		5,000
豊沢教会		10,000
難波信義		10,000
西岡昌一郎		10,000
原宿教会		300,000
藤原佐和子		5,000
翠ヶ丘教会		9,797
武蔵野扶桑教会		5,000
武蔵野緑教会		10,000
紅葉坂教会		20,000
弓町本郷教会		10,000
霊南坂教会		300,000

【東海・中部・北陸】

(長野・山梨・静岡・富山・石川・福井・愛知・岐阜・三重)

計	17口	183,000円
愛知教会②		70,000

稲垣壬午		10,000
岩橋常久		5,000
各務原教会②		15,000
軽井沢追分教会		3,000
小坂直樹		12,000
清水輝雄②		6,000
田瀬教会		3,000
敦賀教会		5,000
天白教会		7,000
名古屋中央教会		15,000
名古屋東教会		3,000
平野直子		5,000
三重地区婦人部		5,000
南山教会		10,000
匿名希望		5,000
匿名希望②		4,000

【京都・滋賀】

計	55口	555,000円
赤松信哉		5,000
秋田まち子②		6,000
石若義雄②		8,000
井上勇一		10,000
今井牧夫		3,000
今津教会		10,000
入治彦・入順子		10,000
宇治教会		15,000
鴨東教会		5,000
近江八幡教会		20,000
大下真弓②		6,000
大津教会②		17,000
小笠原純②		10,000
桂教会		10,000
賀茂教会		5,000
岸本兵一		2,000
木村良巳・葉子		10,000
京都教会		50,000
京都葵教会		10,000
京都丸太町教会		10,000

【四 国】

(愛媛・香川・徳島・高知)

計	8口	135,000円
今治教会		20,000
伊予小松教会		5,000
上島一高		10,000
小糸健介		5,000
丹原教会		5,000
土佐教会		5,000
松山教会④		75,000
松山古町教会		10,000

【九州・沖縄】

計 11口 97,000円

浅野直人		10,000
内山強		5,000
熊本草葉町教会		25,000
小倉日明教会		2,000
高橋哲郎②		20,000
張宇成		5,000
長崎学院宗教部		5,000
西岡裕芳		5,000
西八条敬洪		5,000

福岡警固教会 10,000
弥生幼稚園 5,000

合計 235口 2,878,987円

地区は、ご送金くださいました振込用紙の住所に従っています。
年度のご指定のないものはご送金日の年度に従って振り分けています。

2023年度 全国同信伝道会神学教育後援会寄付金地区別表

(2023年4月1日～2024年3月31日)

地区	2022年度決算		2023年度予算		2023年度決算		2024年度予算
	口数	金額(円)	金額(円)	口数	金額(円)	金額(円)	
北海道	5	27,500	60,000	7	59,540	100,000	
奥羽・東北	6	46,000	100,000	4	28,000	100,000	
関東	23	177,000	250,000	23	164,000	250,000	
東京・神奈川・千葉	32	901,000	950,000	24	792,797	950,000	
東海・中部・北陸	16	329,000	400,000	17	183,000	300,000	
京都・滋賀	53	547,900	700,000	55	555,000	700,000	
大阪・奈良・和歌山	38	394,250	550,000	37	410,650	550,000	
兵庫	30	352,000	500,000	29	333,000	500,000	
東・西中国	22	110,000	200,000	20	121,000	200,000	
四国	9	105,000	140,000	8	135,000	200,000	
九州・沖縄	13	112,000	150,000	11	97,000	150,000	
その他							
合計	247	3,101,650	4,000,000	235	2,878,987	4,000,000	

《寄付金領収書について大切なお知らせ》

これまで、皆さまから振込みでささげられた献金には領収書を発行しておりましたが、手数料や郵便料金の大幅な値上げに伴い、2024年度よりこれを原則廃止とさせていただきます。
郵便払込用紙をご利用になった際に残る「振込受領証」または口座からお振り込みの場合は通帳記帳をもって領収の証しに代えさせていただきます。書留や現金の場合は、領収書が必要な方のみお送りします。
年2回発行されるニュースレターに毎回掲載される寄付金報告にて、ご確認をお願いいたします。

なお、領収書が必要な場合は、その旨をお知らせいただければ発行いたします。その際、通信欄にてPDF形式の領収書をメール送信(メールアドレスも付記願います)、もしくは領収ハガキ郵送のどちらをご希望かをお知らせください。

皆さまよりささげられた寄付金をより有効に用いさせていただくためにも、ご理解とご協力の程、よろしくをお願いいたします。

2023年度 全国同信伝道会神学教育後援会 会計報告

(会計年度 自2023年4月1日～至2024年3月31日)

2024年6月26日現在

収入の部

(単位：円)

	2022年度決算	2023年度予算	2023年度累計	予算比	2024年度予算
前年度繰越金	1,990,016	3,360,363	3,360,363	100%	2,731,227
寄付金	3,101,650	4,000,000	2,878,987	72%	4,000,000
特別献金	50,000	50,000	50,000	100%	50,000
同信会会計より繰入れ					
雑収入	13	20	19	95%	20
合計	5,141,679	7,410,383	6,289,369	85%	6,781,247

支出の部

(単位：円)

	2022年度決算	2023年度予算	2023年度累計	予算比	2024年度予算
海外留学生奨学金	480,000	360,000	360,000	100%	360,000
神学生奨学金	240,000	840,000	480,000	57%	720,000
赴任時奨学金	200,000	800,000	600,000	75%	800,000
神学部への寄付	55,000	50,000	50,000	100%	30,000
神学研修講座補助金	100,000	100,000	100,000	100%	100,000
神学協議会補助金	0	400,000	400,000	100%	0
献身キャンプ(東・西)補助金	410,000	400,000	400,000	100%	400,000
予餞会補助	0	100,000	100,000	100%	50,000
募金事務費	120,531	200,000	121,153	61%	150,000
印刷費	10,385	30,000	0	0%	10,000
郵送費	133,360	400,000	254,502	64%	350,000
雑費(委員会費含む)	32,040	50,000	52,487	105%	60,000
予備費	0	2,720,383	0	0%	2,731,247
神学生緊急支援金	0	0	300,000	-	300,000
派遣神学生支援金		960,000	340,000	35%	720,000
次年度繰越金	3,360,363		2,731,227		
合計	5,141,679	7,410,383	6,289,369	85%	6,781,247

特別献金：同信会会計より献金

海外留学生奨学金：奨学金(12万円×3名) ※募集は3名

神学生奨学金：奨学金(12万円×4名) ※募集は7名

赴任時奨学金：奨学金(20万円×3名)

献身キャンプ補助金：西日本ユースキャンプ15万円、東日本献身キャンプ25万円

募金事務費：振替料金、硬貨料金、事務局経費、会計事務謝礼

郵送費：ニュースレターNo.23・No.24郵送費、宛名ラベル代、発送名簿更新費

雑費：委員会費、委員交通費、奨学金授与式昼食代、発送作業軽食代

【新設】派遣神学生教育支援金：支援金(1ヵ月1万円×12ヵ月)3名支出(内1名は10ヵ月) ※募集は8名

【新設】神学生緊急支援金：(10万円×3名) ※募集は3名

《収入》2023年度も寄付金にご協力いただき感謝いたします。ただ、寄付金総額は神学教育後援会が始まって以来初めて300万円を下回り、支出が多かったことも重なって、単年度の収支差額としては赤字となりました。これにより次年度繰越金も300万円未満となり、かなり危機感を抱いています。将来の宣教を担う次世代の育成のためにも、寄付金へのいっそうのご協力をお願いいたします。

《支出》2023年度は神学協議会や予餞会が行われ、支出が増加しました。また、新たに「派遣神学生教育支援金」と「神学生緊急支援金」制度が新設されました。牧会志望者の減少により各種奨学金の支出が減少しているのは寂しいことですが、神学生と教会を側面から支援する「派遣神学生教育支援金」が今後活用されることを願います。「神学生緊急支援金」は、神学部との連携のもとで緊急経済支援を求める学生向けに急遽創設された制度でしたが、年度内に必要な方々に支給することができました。ただ、もう少し制度や対象について検討を加える必要があり、現在財務委員会で検討を進めています。

全国同信伝道会会計2023年度決算及び2024年度予算

(自2023年4月1日～至2024年3月31日)

収入の部

単位：円

科 目	2023年度予算	2023年度決算	2024年度予算
前年度繰越金	2,858,898	2,858,898	3,122,235
分担金	850,000	904,051	900,000
会費	300,000	422,000	400,000
感謝献金	550,000	440,297	400,000
クリスマス献金	100,000	61,000	50,000
東京同信伝道会分担金	250,000	500,000	250,000
会衆主義パンフレット	5,000	8,560	5,000
招聘ハンドブック	150,000	16,500	15,000
受取利息	10	20	10
合 計	5,063,908	5,211,326	5,142,245

支出の部

単位：円

科 目	2023年度予算	2023年度決算	2024年度予算
人事委員会費	150,000	151,607	150,000
問安費	150,000	62,430	150,000
事務通信費	50,000	36,688	40,000
慶弔費	50,000	30,900	50,000
合同委員会（6月）	450,000	290,461	450,000
合同委員会（8月）	0	19,000	0
合同委員会（11月）	450,000	405,055	450,000
財務委員会費	50,000	50,000	50,000
教職養成部門委員会費	100,000	100,000	100,000
ネットワーク部門委員会費	50,000	50,000	50,000
ニューズレター印刷費	300,000	266,200	300,000
会衆主義教会研究会費	400,000	264,810	400,000
招聘ハンドブック	100,000	71,940	0
ホームページ	100,000	0	100,000
代議員会費	150,000	190,000	0
補助金	100,000	100,000	100,000
予備費	2,413,908	0	2,752,245
次年度繰越金	0	3,122,235	0
合 計	5,063,908	5,211,326	5,142,245

✧ 教師異動報告 ✧

■ 北海道地区

- ◎山本光一教師 京葉中部教会主任担任教師から浦河教会代務者就任。
- ◎大槻茂勝教師 浦河教会・元浦河教会信徒伝道者新卒赴任。
- ◎韓^{ほん}守賢^{すひやん}教師 北見望ヶ丘教会代務者辞任。
- ◎鄭^{ちやん}富京^{ふぎやん}教師 神奈川教区巡回教師から北見望ヶ丘教会主任担任教師就任。
- ◎李^い相勁^{さんきん}教師 在日大韓基督教会川崎教会主任担任教師から北見望ヶ丘教会担任教師就任。
- ◎大川 清教師 常磐教会主任担任教師から岩見沢教会主任担任教師就任。
- ◎小西陽祐教師 北星学園中学高等学校教務教師に就任。

■ 東北地区

- ◎山田有信教師 淡路教会主任担任教師から常磐教会主任担任教師就任。
- ◎伊藤義経教師 蒲田教会主任担任教師から水沢教会主任担任教師就任。
- ◎近藤 誠教師 仙台東教会代務者就任。
- ◎山下 光教師 水沢教会主任担任教師辞任。
- ◎片岡舘也教師 会津若松教会代務者就任。
- ◎明石義信教師 三春教会代務者辞任。

■ 関東地区

- ◎寒河江健教師 四街道教会主任担任教師から十日町教会主任担任教師就任。
- ◎安部 勉教師 京都教会担任教師・淀川キリスト教病院牧師から高崎教会主任担任教師就任。
- ◎筒井昌司教師 明石教会主任担任教師から下館教会主任担任教師就任。
- ◎伊丹美貴教師 明石教会担任教師から下館教会担任教師就任。
- ◎佐藤嘉哉教師 曾根教会担任教師から深谷教会主任担任教師就任。
- ◎滝口 宣教師 浄風教会主任担任教師から単立所沢教会教師就任。

- ◎大塚 忍教師 神戸教会主任担任教師から敬和学園高等学校教務教師就任。
- ◎臂奈津恵教師 新島学園短期大学教務教師就任。
- ◎三浦 啓教師 吾妻教会代務者就任。
- ◎法亢聖親教師 深谷教会主任担任教師辞任。
- ◎松井 初教師 佐野教会主任担任教師辞任。

■ 東京地区

- ◎西岡裕芳教師 福岡警固教会主任担任教師から弓町本郷教会主任担任教師就任。
- ◎鬼形恵子教師 青山学院横浜英和中学高等学校教務教師を定年退職、弓町本郷教会担任教師就任。
- ◎岡崎菜佳子教師 浄風教会代務者就任。
- ◎藤崎義宣教師 蒲田教会代務者就任。

■ 中部地区

- ◎床次隆志教師 名古屋学院大学チャプレンに就任。
- ◎大塚 勁教師 南山教会担任教師に新卒赴任。

■ 京都地区

- ◎横田明典教師 安土教会代務者辞任。
- ◎森喜啓一教師 北六甲教会主任担任教師から安土教会主任担任教師就任。
- ◎熊本絹江教師 宇治大久保伝道所主任担任教師辞任。
- ◎前川 裕教師 宇治大久保伝道所代務者就任。
- ◎尹^{ゆん}相優^{さんう}教師 弓町本郷教会担任教師から単立左京キリスト教会教師就任。
- ◎李^い元重^{うおんじゆん}教師 新島学園短期大学から同志社大学キリスト教文化センター教員に就任。
- ◎徳田恵美奈教師 茨城キリスト教学園教員から近江兄弟社学園聖書科教員に就任。
- ◎越川弘英教師 同志社大学キリスト教文化センター教員定年退職。

■ 大阪地区

- ◎水谷 憲教師 大阪淡路教会代務者就任。
- ◎井口智子教師 出来島伝道所主任担任教師就任。
- ◎吉村厚信教師 大阪生野教会担任教師辞任。
- ◎関谷共美教師 南大阪教会担任教師辞任。

■ 兵庫地区

- ◎大澤 宣教師 弓町本郷教会主任担任教師から東神戸教会主任担任教師就任。
- ◎久保田愛策教師 十日町教会主任担任教師から摂津三田教会主任担任教師就任。
- ◎石田 求教師 北米加州シカモア組合教会教師から明石教会主任担任教師就任。
- ◎西澤 献教師 仙台東教会主任担任教師から須磨教会担任教師に就任。
- ◎生地善人教師 高崎教会主任担任教師から洲本教会主任担任教師就任。
- ◎山本 一教師 神戸教会代務者就任。
- ◎中塚詠子教師 頌栄保育学院嘱託職員就任。

■ 中国地区

- ◎月下星志教師 廿日市教会代務者辞任。

- ◎福山裕紀子教師 会津若松教会主任担任教師から廿日市教会主任担任教師就任。
- ◎横山順一教師 鳥取教会主任担任教師辞任。
- ◎葛井義顕教師 鳥取教会代務者就任。
- ◎塩見和樹教師 甲山教会代務者辞任。
- ◎加藤俊英教師 小月教会代務者辞任。

■ 四国地区

- ◎上島一高教師 松山東雲女子大学・松山東雲短期大学宗教主事に就任。

■ 九州地区

- ◎西八條敬洪教師 福岡警固教会代務者就任。
- ◎北村智史教師 東京府中教会主任担任教師から福岡警固教会主任担任教師2024年9月就任予定。

隠退教師

- ◎奥村益良教師、宮崎達雄教師、法亢聖親教師、春名康範教師、坂本雅紀教師、熊本絹江教師 永年のお働きを主が労われますようお祈りいたします。

✦ 召天者報告 ✦

平松 潔教師 2024年4月21日 84歳
1964年 同志社大学院修了
原市新生教会、新横浜伝道所、五泉教会、シロアム教会、大森めぐみ教会で伝道牧会されました。
社会福祉法人 牧人会 寒河江共労育成園で園長を務められました。

宮内教司教師 2024年5月2日 90歳
1961年同志社大学院修了
東京山手教会、福島伊達教会で伝道牧会され、聖光学院高等学校、敬和学園高等学校、共愛学園中学高等学校で、聖書科教務教師を務められました。

青木敬和教師 2024年7月1日 93歳
1955年同志社大学院修了
新卒赴任以来、鹿島教会で伝道牧会されました。

中島 淳さん 2024年7月15日 73歳
1975年同志社大学神学部卒業
近江兄弟社高等学校聖書科教員を務められました。



ご遺族ご関係者の上に、主のお慰めをお祈りいたします。

(担当 柳井一朗)

